

東濃信金のウェブ経営支援

多治見市が連携協力

東濃信用金庫（多治見市本町、市原好二理事長）が今年9月から開設している取引先企業向け経営支援ウェブサービス「Tono Big Advance（東濃ビッグアドバンス）」に5日、多治見市がパートナーとして加わった。ウェブ上で市のイベント情報などを企業に発信する。

ビッグアドバンスは、中小企業支援のココペリ（東京都）が全国21の金融機関



と連携して運用している主にビジネスマッチングを目的としたウェブサービス。8千社以上の企業が会員登録し、金融機関を介して販

路拡大や課題解決に活用している。

多治見市はパートナーとしてビッグアドバンスに加わり、市が出展する食器見本市のPRや企業支援施策の紹介を全国の会員企業に情報提供する。企業と協力した新規事業の創出も見込む。東濃ビッグアドバンス

のパートナー連携は、加茂郡川辺町、県商工会連合会に続き3件目。

同市役所で連携式があり、市原理事長は「運用開始からわずか3カ月で820社ほどの企業が会員になった」と強調し、「市にとっては企業誘致といった使い方があり、応用範囲が広

い」と述べた。古川雅典市長は「観光面で期待できる。

情報を一気に国内、世界に発信できる」と話した。